

## 熱川温泉病院 7.8F病棟看護師 外岡 淳

**功 績** 看護部教育委員会では年間教育計画を練り、長年にわたり看護介護の質的向上に取り組んでいます。初の中国人看護師受入のプリセプターとして、外岡が育成プログラムに副った指導・実践・検証を繰り返し、ステップアップを図り、2名を新年度「現職」として成長させた功績。

**推 薦 者** 小林 利恵

**推 薦 理 由** かつて、外岡は自らも新人で、看護部教育制度により成長し、病棟を支える中堅となりました。今また、中国人看護師受入という新たな時代に突入し、伝統を受け継ぎながら新たな風を呼び込もうとする時に、使命感から新人の面倒を見続け、教育制度に新たな1ページを付け加える働きをしました。理事長賞にご推薦申し上げます。

### 内 容

---

昨年4月に中国人看護師を初めて受入れ、7.8F病棟に2名配属となり、プリセプターに看護師2名を付けました。外岡がその1名で、途中1名退職となり、一人で当たることになり、ハードルが高くなりました。中国人看護師も、異国で環境も風習も異なる中で大変でしたが、外岡こそ大変で、マニュアルやプログラムはあるが、初めて重要な役割なので、上長に相談しつつ、手さぐりで臨みました。1年間の主な育成項目は以下です。外岡もかつてこのプログラムで新人育成されました。

上半期 生活習慣・コミュニケーション・基本接遇・業務理解

パートナーと業務実施（患者日常生活支援実践）

パートナーと看護・医療業務実施（処置等見学）

パートナー指導下で業務実施（処置等実践）

下半期 夜勤見習い期間（11月～2月）

カテテル管理・経過記録記載実践・予薬実践・看護計画立案

ひとり立ち準備（3月）

以上のプログラムで育成し師長らとの面談を経て、2名は4月に5F病棟と4F病棟に現職として配属されました。病棟全体でのフォローもしましたが、外岡の公私にわたる指導が一番で、当病棟では見えにくかった成長度が、配属先で見えてきたと評価されております。

当院はこの新卒者育成に長年にわたり力を入れ、看護師がひとり立ちできる教育制度のある病院として外部にアピールし、実績を残してきました。

外岡は、前例のない外国人看護師のプリセプターを務め、教育制度の伝統を受け継ぎながら新たな課題に挑戦できたことに、やりがい・プライドを感じています。